

岐阜県立恵那特別支援学校で防災講座を行いました

令和7年9月18日（木）、岐阜県立恵那特別支援学校で中学部26名・高等部56名に防災講座を行いました。講座は、昨年に引き続き3回目です。当日は「防災学習の日」として学校の裏山が崩れたことを想定した避難訓練が行われました。また、他にも消火器体験や煙の中を歩く訓練なども行われていました。

中学部の講座では、避難訓練を踏まえ、浸水疑似体験映像や土砂災害の映像で災害の怖さを体感して頂きました。また、高潮の実験やペットボトルを用いた竜巻や雲などを作る実験では、積極的に参加する様子が見受けられました。

高等部の講座では、ハザードマップで自宅のリスクを確認し、VRで浸水を疑似体験して頂きました。VR体験後には生徒から「川の増水があると逃げ遅れが多くなってしまうので、テレビや携帯を確認して、警報がでたらすぐに避難したいです。」「避難が遅れてしまうとすぐに命を落としてしまう恐怖を感じたので、日頃から天気や情報を確認して過ごしていこうと思います。」との感想を頂きました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、自分の命は自分で守れるようになって頂けることを期待しています。

